

学習課題（中学校 1 年生）

【国語】



<学習内容>「ぼくが ここに」

教科書「ぼくが ここに（P236～238）」を読んで、詩の中の言葉や表現について、作者の思いを想像しながら読み味わおう。

<取り組み方>

（振り返ろう）

取り組む前に、これまでの学習を思い出してみましょう。

- ① 詩は、「野原はうたう」「竹」などを読みました。参考にしてみましょう。
- ② 「さまざまな表現技法」（P219～221）では、表現の工夫によって印象深く伝えることができることを学習しました。参考にしてみましょう。

（1）教科書「ぼくが ここに（P236～238）」を音読しよう。

📖 どんな特徴があるか考えながら読んでみましょう。

（2）詩の中で心に残った言葉や表現を抜き出し、理由を含めて書き出そう。

📖 ノートに箇条書きなどで書き出してみましょう。

（3）詩を読んで感じたことをノートにまとめよう。また、「いること」に「 」が付いていることにも注目して、考えてみましょう。

📖 （2）を踏まえて、全体を通して感じたこと、作者の思いなどに触れながら、詩を読んで感じたことをまとめてみましょう。

※（1）～（3）に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

<学習のヒント>

（1）今回の学習は詩を味わうことが主です。詩の中の言葉や表現に注目して、読んでみましょう。

（2）これまでの詩の学習などを参考にしてみましょう。

- ・表記はどうでしょうか。（ひらがな、カタカナ、漢字）
- ・詩の体裁はどうでしょうか。（一字空き、改行）
- ・表現技法は使われているでしょうか。

（3）「いること」に「 」が付いているので、「いること」を強調していると考えられます。“ある”ではなく“いる”であることも大事なポイントかもしれません。

☆ 中学校 1 年生の最後の国語の学習です。これまでの学習を思い出しながら、取り組んでみましょう。必要に応じて、教科書を振り返ってみるのでもいいかもしれません。また、言葉 1 つ 1 つに注目して、読みを深めてみましょう。今後の学習でも言葉を大切にすることが求められます。気になる言葉に注目して、詩を読み味わってみてください。